

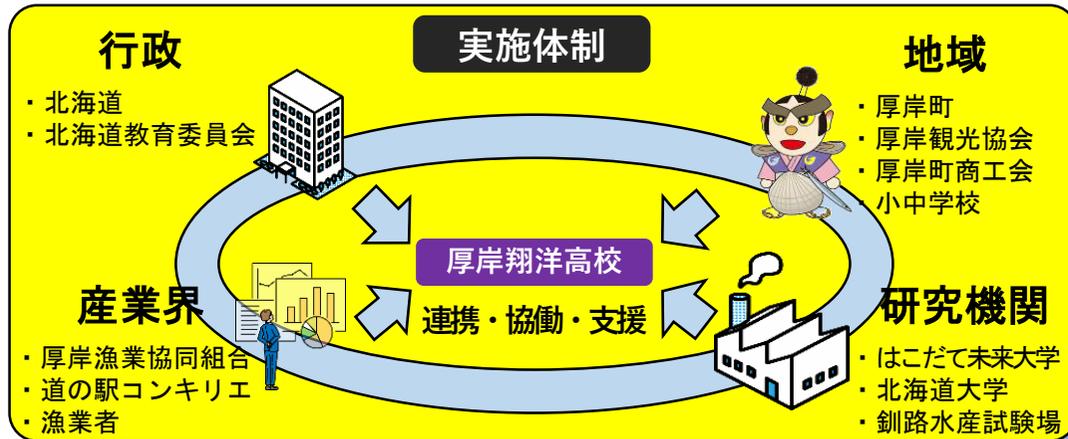
地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成 ～IT導入による持続可能な地域社会の創造～



事業の目的

水産分野の産業構造が変化し、仕事の内容の革新が求められる中、カキやアサリ、コンブなどの水産業を基幹産業とする厚岸町において、IT技術を活用したスマート水産業の実践を通して、地域の資源管理型漁業の推進に寄与するとともに、デジタル人材の育成をはじめとした地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人を育成する

事業概要



飛躍（3年目）

発展（2年目）

挑戦（1年目）



厚岸翔洋高校の取組

令和6年度の実践内容

水産資源の持続化に向けた取組

- 沿岸漁業における漁獲データをデジタル化
- 関係者と協働して各種データの活用促進

漁家経営の持続化に向けた取組

- ドローンの有効活用について実践研究
- 空撮映像を活用して漁労実習等の充実

地域産業の持続化に向けた取組

- 地域の水産物を活用したレシピ等の開発
- 企業等と連携して新商品の開発・販売

取組の3本柱



R6
重点

ITを活用した事業成果の発信に関する取組

学校設定科目導入に向けた取組

「未来に翔く人材」の育成

- 専門技術を生かしてスマート水産業を牽引する人材
- 地域創生の担い手として漁業・食・観光の分野で活躍する人材
- 地域資源の商品化・ブランド化を推進し地域産業の持続的な成長に寄与する人材



持続可能な人材育成システムの構築

- 事業成果を効果的に発信して地域の活性化を目指すとともに学校の応援団を拡大
- スマート水産業を主とした新たな学校設定科目を導入して事業成果を継続的に活用

地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成 ～IT導入による持続可能な地域社会の創造～



【R6目標】 事業成果を効果的に周知して学校の応援団を拡大し、地域と一体となって未来を担う人材を育成する

令和6年度の具体的な取組

測定した各種データの有効活用・分析等を通して
漁業のスマート化

「うみログ」を設置して海洋情報を把握し、漁業者や関係機関等と連携して各種データの有効活用に取り組む



地域と連携・協働しドローンを有効活用を通して
漁業現場の課題解決

漁業者や関係機関等と連携して水中・空中ドローンを活用した漁業現場における課題の解決に取り組む



地域の調理師や食品関係者等と連携して
地元食材を活用したレシピ開発

調理師等と連携し、地元食材を活用したレシピ開発等を通して、探究活動を充実する



多くの方が訪れる施設等にAndroidTVを設置して
本校の取組を発信・普及

AndroidTVを活用して発信するコンテンツを作成し、町内外の方々に取組を広く発信する



事業成果を継続的に活用して学習効果を高める
学校設定科目の構築

事業終了後も持続的な人材育成のため、事業成果を基にした学校設定科目の内容を整理する



専門家による出前授業をとおして課題発見と
最新の知識・技術を習得

関連機関と連携して専門家による出前授業を実施し、課題発見と最新の知識・技術を習得する



空中ドローンによる空撮映像を活用して
漁業実習等の理解促進

漁業実習を空中ドローンで空撮し、漁労作業や操船等に関する技術を習得する



企業と連携して地域の水産物を活用した
新商品の開発・販売

企業や関係機関と連携し、地域の水産物を活用した新商品開発を通して地域の魅力を発信する

